



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月27日

上場会社名 日本車輛製造株式会社
コード番号 7102 URL <https://www.n-sharyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 守
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 武 慎一
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 052-882-3316

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	21,029	8.4	1,452	8.2	1,581	9.9	1,501	15.5
2023年3月期第1四半期	22,953	21.0	1,342	26.9	1,439	26.8	1,300	18.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,249百万円 (174.5%) 2023年3月期第1四半期 1,183百万円 (207.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	104.08	
2023年3月期第1四半期	90.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	126,579	54,222	42.8
2023年3月期	124,363	51,123	41.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 54,222百万円 2023年3月期 50,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		10.00	20.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	10.2	4,100	8.1	4,200	6.5	3,200	2.6	221.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	14,675,012 株	2023年3月期	14,675,012 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	243,757 株	2023年3月期	243,535 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	14,431,375 株	2023年3月期1Q	14,431,988 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復の動きが見られましたが、物価上昇や世界的な金融引き締め等による下振れリスクを注視する必要がある、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、輸送用機器・鉄構事業の売上が増加した一方、鉄道車両事業、建設機械事業、エンジニアリング事業の売上が減少したことなどにより、売上高は前年同四半期比8.4%減少の21,029百万円となりました。利益面につきましては、輸送用機器・鉄構事業の利益が増加したことなどにより、営業利益は前年同四半期比8.2%増加の1,452百万円、経常利益は前年同四半期比9.9%増加の1,581百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比15.5%増加の1,501百万円となりました。

セグメント別状況は以下のとおりであります。

①鉄道車両事業

JR東海向けN700S新幹線電車や315系電車、HC85系特急型車両のほか、名古屋鉄道向け電車、新京成電鉄向け電車などの売上があり、JR向け車両の売上が前年同四半期に比して減少したことなどにより、鉄道車両事業の売上高は11,039百万円と前年同四半期比15.6%減少となりました。

②輸送用機器・鉄構事業

輸送用機器におきましては、民生用バルクローリ、大型自走式キャリヤ、無人搬送装置、貨車などの売上があり、無人搬送装置、民生用バルクローリの売上が前年同四半期に比して増加しました。

鉄構におきましては、佐世保道路須崎橋、三遠道路1号橋などの売上があり、道路橋の売上が前年同四半期に比して増加しました。

以上の結果、輸送用機器・鉄構事業の売上高は4,430百万円と前年同四半期比29.4%増加となりました。

③建設機械事業

大型杭打機、全回転チュービング装置、小型杭打機などの売上があり需要は堅調に推移しておりますが、海外向け大型杭打機の売上が出荷日の関係から前年同四半期に比して減少したことなどにより、建設機械事業の売上高は4,338百万円と前年同四半期比11.0%減少となりました。

④エンジニアリング事業

鉄道事業者向け機械設備のほか、家庭紙メーカー向け製造設備、各地のJA向け営農プラントなどの売上があり、鉄道事業者向け機械設備の売上が前年同四半期に比して減少したことなどにより、エンジニアリング事業の売上高は1,205百万円と前年同四半期比22.9%減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

前連結会計年度末に比べ1.8%増加し126,579百万円となりました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産が減少した一方で、短期貸付金が増加したことなどによるものであります。

②負債

前連結会計年度末に比べ1.2%減少し72,356百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が減少したことなどによるものであります。

③純資産

前連結会計年度末に比べ6.1%増加し54,222百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したため利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、前回（2023年4月25日付け）公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,570	3,306
受取手形、売掛金及び契約資産	19,556	17,152
電子記録債権	2,381	1,751
商品及び製品	1,602	2,088
半製品	1,169	1,177
仕掛品	22,229	21,162
原材料及び貯蔵品	1,826	1,934
短期貸付金	19,893	23,698
その他	701	705
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	72,925	72,972
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,142	14,100
その他（純額）	13,409	13,196
有形固定資産合計	27,551	27,297
無形固定資産		
	423	404
投資その他の資産		
投資有価証券	17,144	19,735
退職給付に係る資産	5,302	5,338
その他	1,024	840
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	23,462	25,905
固定資産合計	51,437	53,607
資産合計	124,363	126,579
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,045	6,118
電子記録債務	8,915	9,141
1年内返済予定の長期借入金	3,194	3,208
未払法人税等	486	283
前受金	497	1,051
賞与引当金	1,976	2,832
工事損失引当金	487	303
その他	6,908	5,261
流動負債合計	29,510	28,202
固定負債		
長期借入金	38,165	38,010
石綿健康被害補償引当金	75	73
退職給付に係る負債	291	298
その他	5,197	5,772
固定負債合計	43,729	44,154
負債合計	73,240	72,356

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,810	11,810
資本剰余金	—	156
利益剰余金	33,225	34,583
自己株式	△523	△524
株主資本合計	44,513	46,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,732	8,531
為替換算調整勘定	△2,240	△2,240
退職給付に係る調整累計額	1,956	1,904
その他の包括利益累計額合計	6,448	8,195
非支配株主持分	162	—
純資産合計	51,123	54,222
負債純資産合計	124,363	126,579

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
売上高	22,953	21,029
売上原価	19,629	17,643
売上総利益	3,324	3,386
販売費及び一般管理費	1,981	1,933
営業利益	1,342	1,452
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	144	183
持分法による投資利益	18	4
その他	21	16
営業外収益合計	197	212
営業外費用		
支払利息	86	69
その他	14	15
営業外費用合計	100	84
経常利益	1,439	1,581
特別利益		
固定資産売却益	0	19
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	4	19
特別損失		
固定資産除売却損	11	30
その他	1	—
特別損失合計	13	30
税金等調整前四半期純利益	1,430	1,569
法人税等	126	68
四半期純利益	1,303	1,501
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,300	1,501

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
四半期純利益	1,303	1,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113	1,786
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	△8	△51
持分法適用会社に対する持分相当額	1	12
その他の包括利益合計	△119	1,747
四半期包括利益	1,183	3,249
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,180	3,249
非支配株主に係る四半期包括利益	3	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（親会社へ譲渡した固定資産）

当社は、2017年4月20日に豊川製作所、衣浦製作所、鳴海製作所の工場資産を当社の親会社（東海旅客鉄道株）へ譲渡しました。当該取引は、当社の親会社との取引であり、かつ、譲渡した工場資産は譲渡後も親会社との間で賃貸借契約を締結して当社が従前どおり工場として使用を継続しているため、これら工場資産の土地及びその他の有形固定資産については売買処理を行っておらず、有形固定資産に計上しております。なお、当該取引はファイナンス・リース取引には該当しないため、工場資産の譲渡価額は長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）に計上しております。また、譲渡した工場資産に係る設備投資についてもその他の有形固定資産に計上するとともに、設備投資額の一部を長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）に計上しております。

なお、譲渡資産のうち、2023年3月31日に豊川製作所を親会社から買い戻したことにより、長期借入金が増加しました。これによる有形固定資産計上額への影響はありません。また、豊川製作所の土地及びその他の有形固定資産は工場財団を組成し、2017年11月に親会社から借り入れた長期借入金の担保に追加で提供しました。

上記の結果、2023年6月末日における計上額は、土地7,414百万円、その他の有形固定資産3,492百万円（いずれも2023年6月末日の帳簿価額）であり、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の残高は14,503百万円であります。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道車両 事業	輸送用機器 ・鉄構事業	建設機械 事業	エンジニアリ ング事業				
売上高								
外部顧客への売上高	13,075	3,422	4,875	1,564	15	22,953	—	22,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	126	54	0	—	65	246	△246	—
計	13,201	3,477	4,876	1,564	80	23,200	△246	22,953
セグメント利益又は損失(△)	1,157	△155	901	△103	△117	1,682	△340	1,342

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、全社費用△340百万円、棚卸資産の調整額△3百万円及びセグメント間取引消去4百万円などが含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道車両 事業	輸送用機器 ・鉄構事業	建設機械 事業	エンジニアリ ング事業				
売上高								
外部顧客への売上高	11,039	4,430	4,338	1,205	16	21,029	—	21,029
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	12	2	—	64	105	△105	—
計	11,065	4,443	4,341	1,205	80	21,135	△105	21,029
セグメント利益又は損失(△)	634	259	786	△103	178	1,755	△302	1,452

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、全社費用△308百万円、棚卸資産の調整額2百万円及びセグメント間取引消去4百万円などが含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（収益認識関係）

（顧客との契約から生じる収益を分解した情報）

当社グループの事業は、鉄道車両事業、輸送用機器・鉄構事業、建設機械事業、エンジニアリング事業及びその他の事業により構成されております。当社グループでは、これらの事業を通じて得られる収益を売上高として表示しています。

報告セグメント別に分解した顧客との契約から認識した売上高は以下のとおりであります。

（単位：百万円）

		前第1四半期 連結累計期間 （自2022年4月1日 至2022年6月30日）	当第1四半期 連結累計期間 （自2023年4月1日 至2023年6月30日）	
報告セグメント	鉄道 車両 事業	J R	12,264	10,045
		公民営	810	994
		小計	13,075	11,039
	輸送用機器 ・ 鉄構事業	輸送用機器	1,694	2,256
		鉄構	1,725	2,174
		小計	3,419	4,430
	建設機械事業	4,695	4,132	
	エンジニアリング事業	1,564	1,205	
	その他（注）1	15	16	
	合計	22,769	20,823	
顧客との契約から認識した収益	一時点で移転される財	20,653	17,803	
	一定の期間にわたり 移転される財	2,116	3,019	
	合計	22,769	20,823	
その他の源泉から認識した収益（注）2	183	206		
外部顧客への売上高	22,953	21,029		

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であります。

2. 「その他の源泉から認識した収益」には、収益認識会計基準等の適用外取引として、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」が定めるリース取引等が含まれております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

事業区分	前第1四半期連結累計期間 (2022. 4. 1～2022. 6. 30)		当第1四半期連結累計期間 (2023. 4. 1～2023. 6. 30)	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
鉄道車両	13,412	57.0	9,138	46.7
輸送用機器・鉄構	3,656	15.5	4,442	22.7
建設機械	4,427	18.8	4,330	22.1
エンジニアリング	2,053	8.7	1,666	8.5
その他	1	0.0	1	0.0
合計	23,552	100.0	19,579	100.0

②受注状況

事業区分	前第1四半期連結累計期間 (2022. 4. 1～2022. 6. 30)		当第1四半期連結累計期間 (2023. 4. 1～2023. 6. 30)		
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	
受注高	鉄道車両	2,475	20.3	10,570	54.3
	輸送用機器・鉄構	2,247	18.5	2,112	10.8
	建設機械	4,445	36.6	4,401	22.6
	エンジニアリング	2,965	24.4	2,380	12.2
	その他	20	0.2	21	0.1
	合計	12,154	100.0	19,486	100.0
受注残高	鉄道車両	78,930	70.0	104,637	70.3
	輸送用機器・鉄構	16,850	15.0	22,017	14.8
	建設機械	13,546	12.0	18,843	12.7
	エンジニアリング	3,363	3.0	3,290	2.2
	その他	4	0.0	4	0.0
	合計	112,695	100.0	148,794	100.0

③販売状況

事業区分	前第1四半期連結累計期間 (2022. 4. 1～2022. 6. 30)		当第1四半期連結累計期間 (2023. 4. 1～2023. 6. 30)	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
鉄道車両	13,075	57.0	11,039	52.5
輸送用機器・鉄構	3,422	14.9	4,430	21.1
建設機械	4,875	21.2	4,338	20.6
エンジニアリング	1,564	6.8	1,205	5.7
その他	15	0.1	16	0.1
合計	22,953	100.0	21,029	100.0